

2024年9月4日

産婦人科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

## 「当院における流産後絨毛組織遺残（RPOC）症例に 対する管理方針の検討」 への協力をお願い

産婦人科では、下記のような診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2022年1月1日から2024年5月30日の間に、当科において、流産後の絨毛遺残（retained products of conception：RPOC）の治療を受けられた方

研究期間：許可日から2028年5月30日

研究目的・利用方法：

流産後の絨毛遺残（retained products of conception：RPOC）の臨床経過について診療録をもとに後方視的に観察を行います。

全国的に管理方針が統一されていない疾患であるため、当院での管理方針の妥当性について検討することを目的とします。

研究に用いる情報の項目：

診療録をもとに以下の主に以下の項目について後方視的に収集します。これらは全て日常診療で実施された項目です。

年齢、身長、体重、妊娠歴、既往歴、合併症、生殖補助医療の有無と内容、人工妊娠中絶の有無、既往子宮手術の有無

当院初診時の自覚症状および診察所見、採血データ（Hb、CRP、hCG）

画像所見（超音波、MRI、子宮鏡等）、子宮動脈塞栓術実施の有無とその所見、子宮鏡手術の有無とその所見、治療後の臨床経過

研究に用いる試料・情報の利用を開始する予定日：2024年9月6日

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに受けていただく検査や処置などはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

## 研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

## 研究責任者

岐阜大学大学院医学系研究科 産婦人科分野

氏名：桑山太郎

## 連絡先

岐阜大学医学部附属病院 産婦人科

電話番号：058-230-6345

氏名：桑山 太郎

## 【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係

〒501-1194

岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1

Tel：058-230-6059

E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp